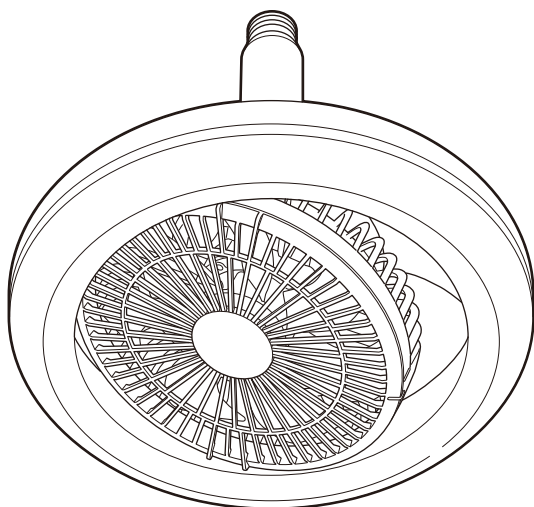


CIRCULIGHT

サーキュライト ソケットモデル DSLS10RC / ASLS10RC / KSLS10RC

取扱説明書・保証書

このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。正しくご使用いただくために必ずこの取扱説明書をよくお読みください。なお、お読みになられたあともいつでも見られるように大切に保存してください。



も く じ

安全上のご注意	P.1~P.2
各部の名称とはたらき	P.3
使用前の準備	P.4
設置	P.5~P.6
正しい使いかた	P.7~P.10
お手入れと保存	P.11~P.12
修理・サービスを依頼する前に	P.13
長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について	P.14
アフターサービスについて	裏表紙
保証書	裏表紙

仕 様



品名	サーキュライト ソケットモデル			
型名	DSLS10RC / ASLS10RC / KSLS10RC			
電源	AC100V 50/60Hz			
	LED部		ファン部	
定格消費電力	約16W (強時)	定格消費電力	約9W (風量最大時)	
機能	LED7段階調節、調色5色	機能	風量7段階調節	
器具光束	約1520lm (ルーメン) (強時)	回転機能	0°(停止)、90°、180°、360°	
推奨使用周囲温度	5~35℃			
外形寸法	(約) φ250 mm × 250 mm			
本体質量	約770g			
付属品	リモコン×1、リモコン用単4形乾電池(お試し用)×2、リモコンケース×1、取扱説明書・保証書			

- LED光源など部品の交換はできません。
- LED光源にはバラツキがあるため、同じ型名の製品であっても発光色、明るさが異なる場合がございますのでご了承ください。
- 仕様などは改善・改良のため、予告なく変更することがあります。
- 本製品を使用できるのは日本国内のみで、海外では使用できません。
(This unit can not be used in foreign countries as designed for Japan only.)
- 取扱説明書に使用されているイラストと実際の製品は一部異なる場合があります。



Y2405A

安全上のご注意










- ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに、必ず保存してください。

 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示します。 (物的損害とは、家屋・家財・家畜・ペットなどにかかる拡大損害を示します。)





図記号の意味と例

	❯は、「してはいけないこと」を意味しています。具体的な禁止内容は、❯の中や近くに絵や文章で示しています。(左図の場合は、「分解禁止」を示します。)
	●は「必ずすること」を意味しています。具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示しています。(左図の場合は、「電源プラグをコンセントから抜くこと」を示します。)

警告

 禁止	交流100V以外では使用しない。 直流電源では使用しないでください。 破損・発煙・火災・感電の原因になります。	 使用禁止	異常時(こげ臭い、発煙など)はすぐに電源を切るか、本体をソケットから取りはずす。 火災・感電の原因になります。	 禁止 調光機能付の電球機器や回路、非常用照明器具、HIDランプ(高輝度放電灯)器具での使用をしない。 破損・発煙の原因になります。
	本体のすき間にピンや針金などの金属物など、異物を入れない。 感電・けがの原因になります。		取り付け・取りはずしをするときは必ず電源を切つて行なう。 けが・故障の原因になります。	 禁止 口金が傷んだり、ソケットの差し込みがゆるいときは使用しない。 感電・ショート・発火の原因になります。
	取り付けできない配線器具には無理に取り付けない。 (取り付けできない配線器具) ・破損しているもの ・取り付けが不十分でグラグラするもの 火災・感電・落下してけがの原因になります。	 指示	リモコン用の電池からもれた液が目に入ったときは、こすらずに水で洗い流し、医師の診察を受ける。 失明や目に障害を負う原因になります。	 指示 口金部分はソケットの奥までしっかり差し込む。 感電・ショート・発火の原因になります。
	屋内専用なので、屋外では使用しない。 器具周囲温度5～35℃の範囲内で使用してください。 火災・感電の原因になります。		調光機能のついた電源(壁スイッチなど)は使用することができないので、電気工事士資格取得者に交換工事を依頼する。 そのまま使用すると火災・故障の原因になります。 工事は販売店・工事店などに相談してください。	口金の取り付け面にホコリが付着している場合はふきとる。 ホコリが付着したままソケットに差し込むと、ショート・火災の原因になります。
	本体に布や紙をかけた、おいたり、熱のこもる使いかた、燃えやすいものを近づけたりをしない。 火災・故障の原因になります。		水につけたり、水をかけたりしてぬらさない。 ショート・感電の原因になります。	
	ストープなど温度の高くなるものを近く・真下に置かない。 火災・故障の原因になります。	 分解禁止	分解しない。また、修理技術者以外の人には修理しない。 火災・感電・けがの原因になります。 修理は販売店にご相談ください。	
	湿度の多い風呂場などでは使用しない。水滴がかかる場所では使用しない。 感電・火災の原因になります。	 ぬれ手禁止	ぬれた手で、本体・口金部分の抜き差ししない。 感電の原因になります。	
	前ガードを取り付けずに運転をしない。 けが・故障の原因になります。	 水ぬれ禁止	水につけたり、水をかけたりしてぬらさない。 ショート・感電の原因になります。	
	子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところでは使わない。 けが・感電の原因になります。			

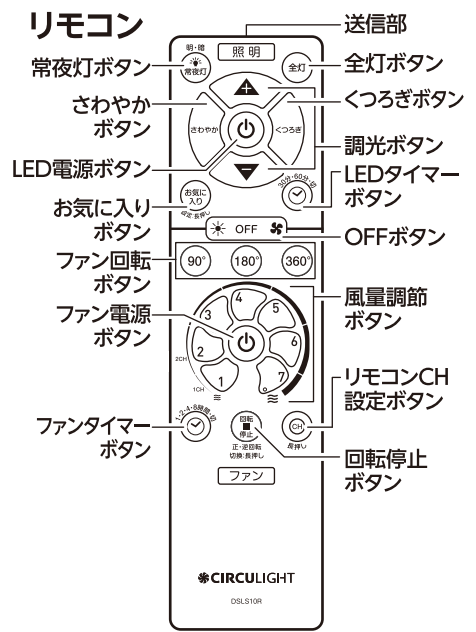
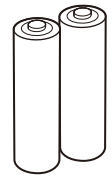
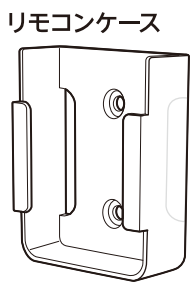
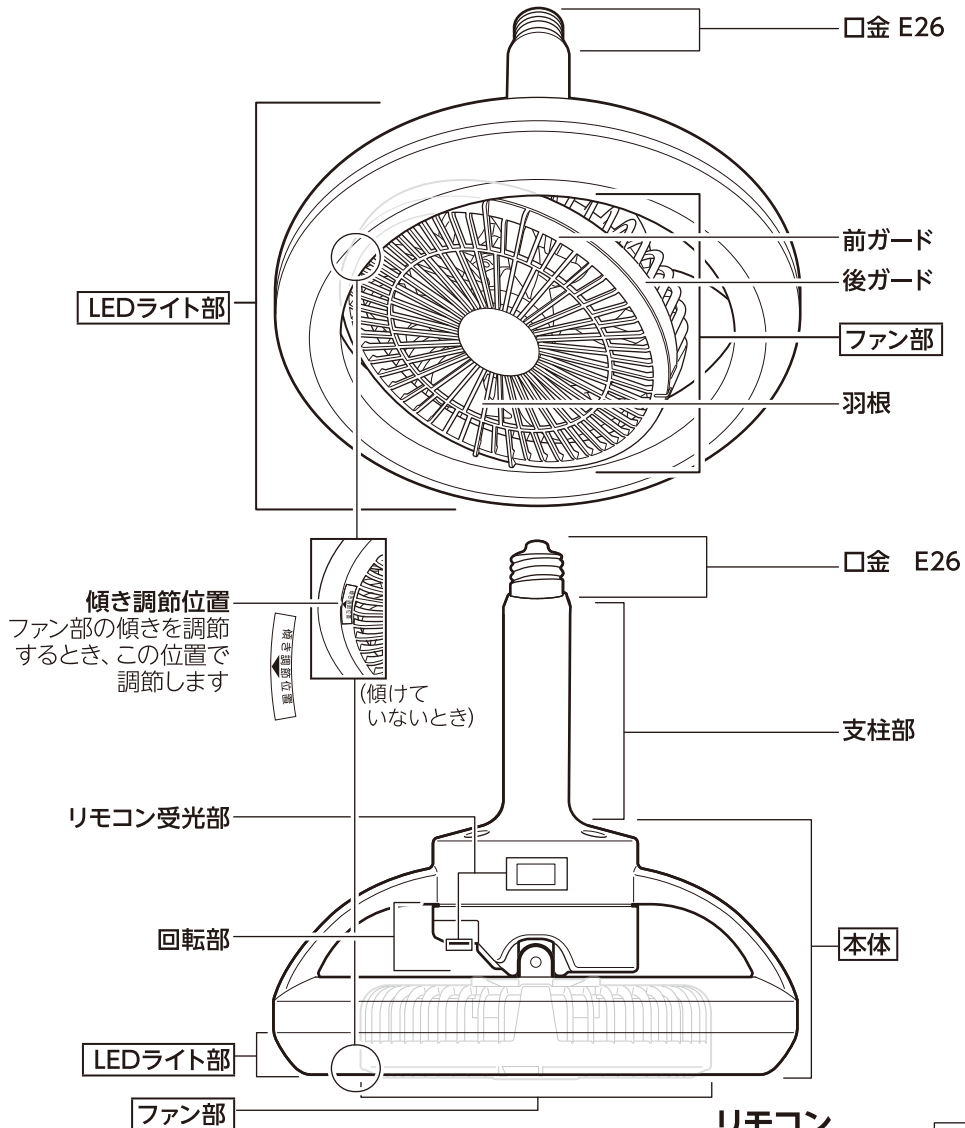
注意

 <p>指示</p>	<p>器具で指定されたワット数などを守り、確実にソケットに取り付ける。熱を持ったり、故障、落下の原因になります。</p>	 <p>指示</p>	<p>LED部とファン部の間に指などを挟まないように注意する。けがや骨折の原因になります。</p>	 <p>禁止</p>	<p>風をからだに、長い時間続けてあてない。健康を害することがあります。</p>
	<p>前ガードは正しく取り付け。落下してけがの原因になります。</p>		<p>リモコンの電池は指定以外の電池を使用しない。液もれなどの原因になります。</p>		<p>ガードの中に指などを入れない。けがの原因になります。</p>
	<p>被照射物との距離は1m以上あける。色あせ・変色の原因になります。</p>		<p>リモコンの電池は直射日光のあたる場所など高温になる場所に置かない。液もれや破裂、火災などの原因になります。</p>		<p>髪をガードに近づけすぎない。髪が巻き込まれ、けがをする原因になります。</p>
	<p>使用場所によっては、天井や壁紙などに悪影響を与えるので注意する。連続照射・連続する風の流れの影響を考えて設置してください。</p>		<p>ものをぶつけたり、衝撃を与えない。けが、やけどの原因になります。</p>		<p>次のようなところでは使わない。 ●レンジなど炎の近く ●引火性のガスがあるところ ●雨や水しぶきがかかるところ 変色・変形・炎の立ち消え・火災・感電の原因になります。</p>
	<p>設置して長時間使用すると、外部に異常がなくても内部の劣化は進行するので、点検する。 点検せずに使用を続けると、火災、落下による感電、けがの原因になります。</p>		<p>点灯中や点灯直後は熱くなっているため、器具に触れない。やけどの原因になります。</p>		<p>お手入れの際は住宅用洗剤・シンナー・ベンジン・アルコール・磨き粉などを使わない。変色・変形・感電・故障の原因になります。</p>
	<p>リモコンの電池は⊕⊖を正しく入れる。間違えて入れると、故障するだけでなく、液もれや、破裂の原因になります。</p>		<p>本製品の一部分が破損した場合そのまま使用を続けず、また破損した部分に直接触れたりしない。けが・やけど、落下の原因になります。</p>		<p>油煙が発生する場所に設置しない。油煙によって樹脂の劣化・変色・変形・ひび割れを起こし、破損・故障の原因になります。</p>
	<p>長期間使用しないときは、リモコンの電池を抜く。 長期間入れたままにしておくと、液もれによって内部を汚したり、破裂による火災やけがの原因になります。</p>		<p>ラジオやテレビなどの音響機器・映像機器を近くで使用しない。雑音の原因になることがあります。使用する場合はできるだけ離して使用するようしてください。</p>		<p>風の通りの悪い密閉型器具に取り付けない。風が十分に送られず、熱がこもり、故障の原因になります。</p>
	<p>リモコンを廃棄するときは、電池を抜く。 そのまま廃棄すると、思わぬ事故の原因となります。電池は各地方自治体の指示に従って処分してください。</p>		<p>ガードにハンガーなどを掛けない。火災・故障の原因となります。</p>		<p> 禁止</p>
			<p>LEDの光を直視しない。けがの原因になります。</p>		

使用する前に／ご使用上の注意

- 以下の器具には絶対に使用しないでください。
 - ・調光のついた電球器具や回路。【調光・電球の明るさを変える機能】(製品が故障したりチラツいたりする場合があります)100%点灯でも使用不可。
 - ・誘導灯・非常用照明器具。
 - ・屋外用器具。
 - ・水銀灯、ナトリウムランプ、メタルハライドランプなどのHIDランプ器具。
 - ・風呂場などの湿気が多い場所、水滴などがかかる場所。
 - ・このほかの使用器具の種類によって寸法的、熱的、その他の状況により使用できない場合があります。
- 本製品を使用できるのは日本国内のみで、海外では使用できません。(This unit can not be used in foreign countries as designed for Japan only)
- 本製品の周囲温度が35℃を越える場所では使用しないでください(推奨使用周囲温度は5～35℃です)。
- 酸、硫黄などの腐食性雰囲気(温泉地など)ののところでは一般器具によるランプ(本製品)の使用はしないでください(漏電・落下・口金腐食の原因)。
- 直流電源では絶対に使用しないでください(AC100V、周波数50Hz、60Hz以外の電源では使用しないでください)。
- 赤外線リモコンを採用した機器(テレビやエアコンなど)の近くで点灯すると、リモコンが誤動作することがあります。
- 人感スイッチなどの自動点滅装置や遅れ停止スイッチなどには使用できません。
- 密閉器具には対応不可です。
- 水洗いや分解、改造はしないでください。LED光源のみの交換はできません。
- LEDライト部を直視しないでください。目に悪影響を及ぼす原因になります。
- LED光源にはバツキがあるため、同じ型名の製品であっても発光色、明るさが異なる場合がありますのでご了承ください。

各部の名称とはたらき



使用前の準備

梱包部品一覧

お買い上げ後、同梱の部品を確認してください。

本体.....	1個	リモコンケース取り付けネジ.....	2本
リモコン.....	1個	リモコン用単4形乾電池(お試し用).....	2本
リモコンケース.....	1個	取扱説明書(保証書含む).....	1部

リモコンの準備

下記の手順で付属の電池(単4形乾電池)を入れてください。

1. リモコン裏の電池ぶたを開く

電池ぶたの「OPEN」部分を押しながら手前の方向へスライドさせて開きます。

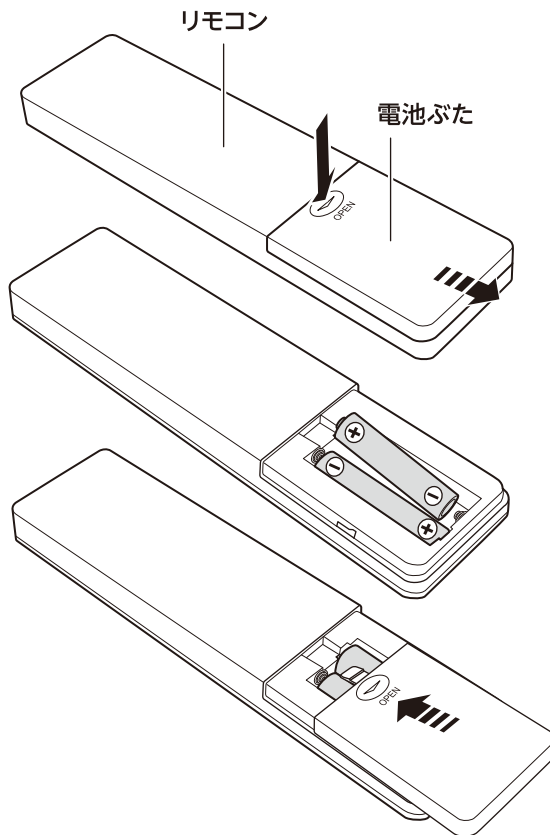
2. ⊕と⊖の向きに注意して、電池を入れる

電池ぶたをはずして、電池を入れてください。

3. 電池ぶたを閉める

電池ぶたを右図の矢印の方向へスライドさせて閉めます。カチッと音がするまで押し込んでください。

- ・リモコンと本体の受信部の間に障害物がある場合は、リモコンが正常に動作しないことがあります。



⚠注意

- ・長期間使わないときは電池を取りはずす。
- ・⊕⊖を正しく入れる。
- ・種類の異なる電池や新旧の電池を混ぜて使用しない。
- ・電池の充電・ショート・分解・火への投入・加熱などはしない。
- ・万一、液もれが起こったときは、よくふき取ってから新しい電池を入れる。

使用可能範囲

- ・本体リモコン受光部正面から直線で約3m以内
 - ・本体リモコン受光部正面から左右に約30度以内
- ※リモコンと本体リモコン受光部(LEDライト部)の間に障害物があると、リモコンが正常に動作しないことがあります。

⚠注意

- ・電池を落下させたり、投げつけたりして強い衝撃を与えないでください。
- ・電池の外装ラベルをはがしたり、傷つけないでください。
- ・新しい電池と使用した電池や古い電池、銘柄や種類の異なる電池を混ぜて使用しないでください。
- ・ニッケル系乾電池(オキシライド乾電池など)は絶対に使用しないでください。
- ・充電式(ニカド・ニッケル水素など)電池を使用しますと、機器が持っている性能を発揮できないことがあります。(機器が誤作動するなど)
- ・電池の消耗により正常に作動しない場合があります。その際は新しい電池と交換してください。
- ・電池に表示されている使用推奨期間内に使用してください。

⚠警告

- ・電池は乳幼児の手の届かない所に置いてください。万一、電池を飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。
- ・電池のアルカリ液が目に入ったときは失明など障害のおそれがありますので、すぐに多量のきれいな水で洗い流し、医師の治療を受けてください。
- ・電池を火に入れたり、加熱、分解、改造などしないでください。
- ・電池の(+)(-)を逆にして使用しないでください。
- ・電池のアルカリ液が皮膚や衣服に付着した場合には、すぐに多量のきれいな水で洗い流してください。
- ・電池の(+)(-)を針金などで接続したり、金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保存しないでください。
- ・付属の電池は充電式につくられていません。充電すると液漏れ、発熱、破裂のおそれがあります。
- ・使い切った電池はすぐ機器から取り出してください。
- ・長期間機器を使用しない場合には、機器から電池を取り出してください。電池を入れたままにしておくと液漏れがあり危険です。

設 置

取り付け環境の確認

本製品は以下のような場所に設置することができません。

周りの環境

- ・湿度の高い場所 水がかかる場所 結露の発生する場所
- ・直射日光のあたる場所 火や熱源に近いところ
- ・油煙が発生する場所
- ・リモコン発信場所から3m以上ある場所
正しく操作できません。

取り付け器具まわりの環境

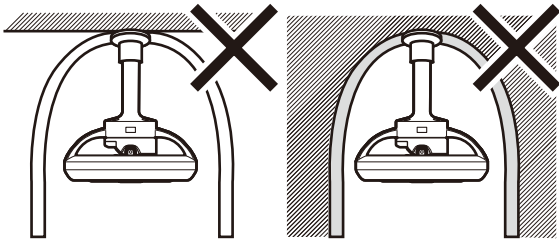
- ・E26以外の取り付け器具
- ・密閉器具内
- ・断熱材施工器具
- ・ペンダントソケット

電源環境

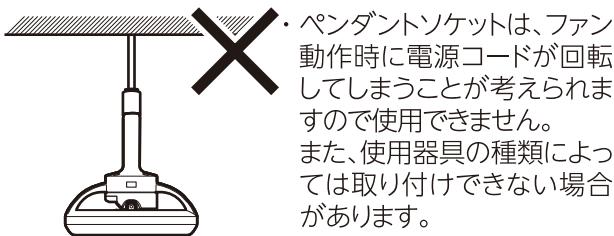
壁のスイッチが調光機能付のもの(100%のまま入切でも不可)。(販売店・工事店に相談ください)

ご利用可能な器具の例

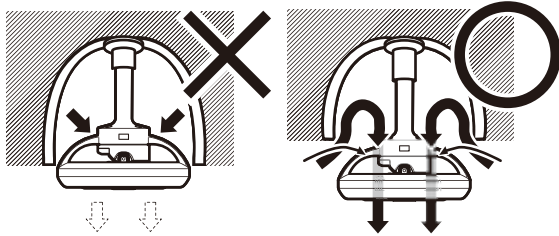
□金E26の器具でランプが下向きの開放形器具でご使用ください。風の通りの悪い密閉型器具に取り付けしないでください(羽根が回っていても風が出ないことがあります)。



- ・下向きの開放型器具でも、上図のような奥まった位置に取り付けることはできません。
- ・密閉型器具、密閉型に近い器具、断熱材施工器具は使用できません。

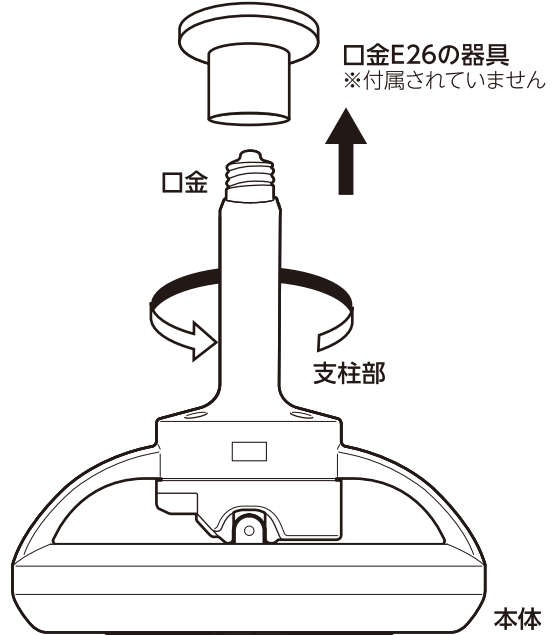


- ・ペンダントソケットは、ファン動作時に電源コードが回転してしまうことが考えられますので使用できません。また、使用器具の種類によっては取り付けできない場合があります。



- ・風の通りが悪い密閉型器具には取り付けしないでください。羽根が回っていても風が出ないことがあります。
- ・本体と器具の間に十分なすき間が取れる器具に設置してください。

□金E26の器具は天井に固定されたものをご使用ください。



器具への取り付け

支柱部

- 支柱部を右(時計方向)に回して、□金を取り付け器具「□金E26の器具」へ取り付けてください。
- ・強く回しすぎると□金E26の器具の破損の原因になります。

本体

- 本体を右(時計方向)に回すことでも□金を取り付け器具へ取り付けすることができます。
- ・この場合、右回転させて回らなくなったら回転をやめてください。□金E26の器具の破損の原因になります。
- ※回す方向は、下の前ガード側から見た方向です。



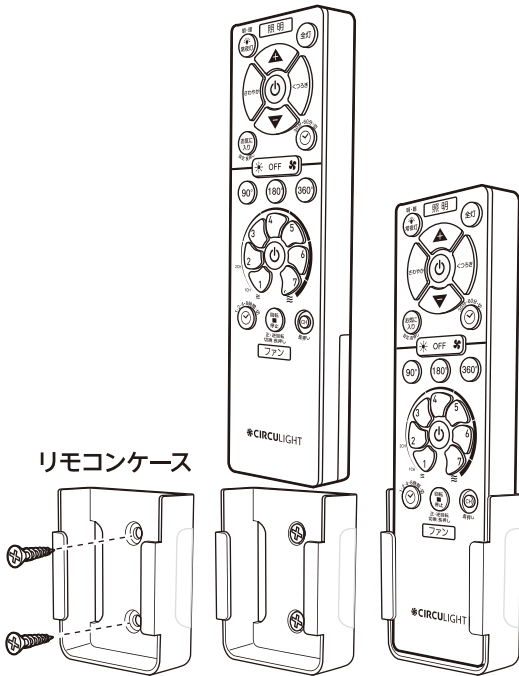
注意

風の通りの悪い密閉型器具に取り付けない。風が十分に送られず、熱がこもり、故障の原因になります。

リモコンケースを設置する

付属のリモコンケースは、リモコン反応を確認のうえ、付属のネジ2本を使用して設置してください。

※ 設置場所によってはリモコンケースに入れたまま操作しても、本製品は反応しないことがあります。



ネジ×2本

仮止め両面テープ
はくり紙をはがして貼り付けてください。

ファン部の傾き調節をする

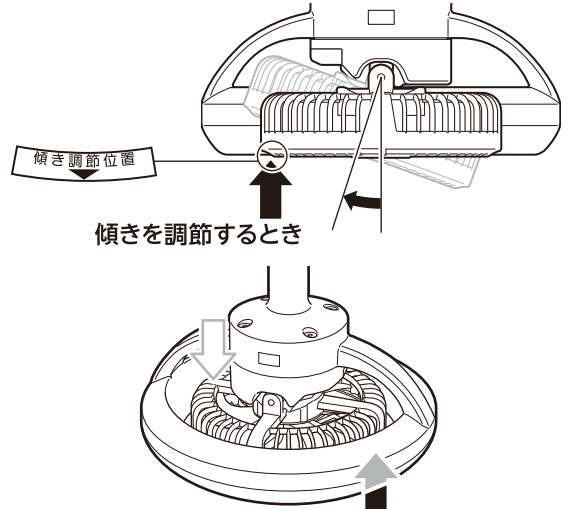
前もってファン部に傾きをつけておくと、回転動作をさせることによって、部屋のポイントに風を送ったり、風を広い範囲に送ることができます(10ページ)。

1. ファン部の電源を切る

ファンの運転を停止させます。ファンが回転しているときは、傾き調節しないでください。

2. ファン部の傾き調節位置を押し、傾きを調節する

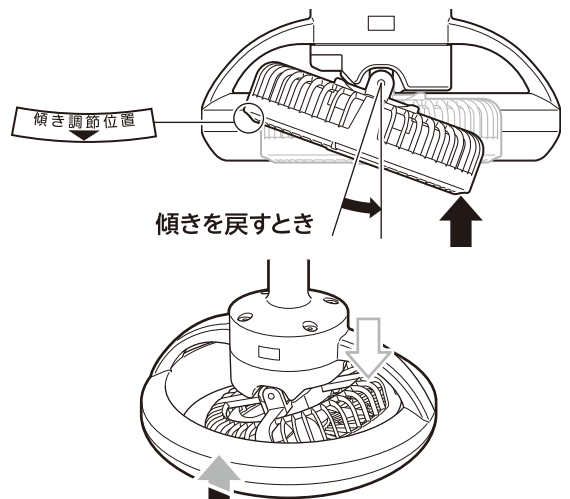
ファン部の円周にある、傾き調節位置を確認し、その部分を押して、傾きを調節してください。



※ 傾き調節位置以外の部分を押しても、傾きをつけることはできません。

※ 必ず傾き調節位置を押してください。内側のガードなどを押すと破損の原因になります。

3. 傾きを戻すときは、傾き調節位置の反対側を押す

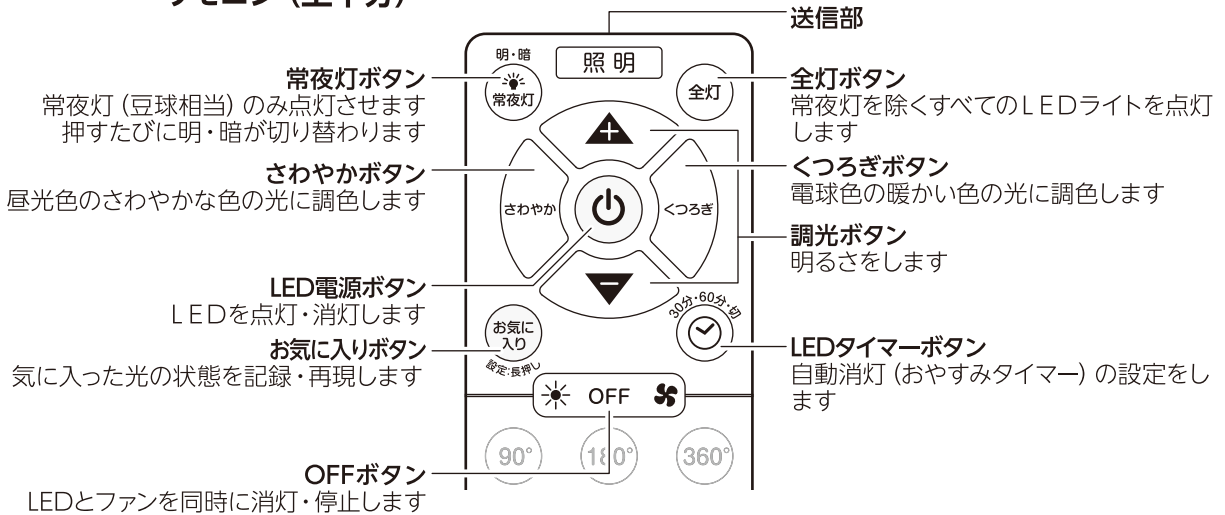


注意

ファンが回転しているときには傾き調節をしない。
破損や故障の原因になります。

正しい使いかた《LED》

リモコン (上半分)



LEDの点灯・消灯

1. 電源 (壁スイッチなど) を入ってからリモコンの **全灯** ボタンを押す

正常に接続されていると、調光100%で点灯します。

- 点灯しない場合、接続に問題があることがあります。電源 (壁スイッチなど) を切って、□金E26との接続を確認してください。
- 接続に問題がないことを確認してから電源 (壁スイッチなど) を入れてください。

2. リモコンの **調光** ボタン・**さわやか** / **くつろぎ** ボタンを押して調光・調色する

調光 ボタン・**さわやか** / **くつろぎ** ボタンを押すことで調光・調色します。

- 調光** ボタンは、押すたびに少しずつ明るく (もしくは暗く) なります (7段階)。
- さわやか** / **くつろぎ** ボタンは、さわやかボタンで昼光色のさわやかな色、くつろぎボタンで電球色の暖かい色に調色することができます (5段階)。

3. お気に入りの調光・調色をメモリーしておくときは、**お気に入り** ボタンを長押しする

お気に入り ボタンを長押しすると、「ピピピッ」と音がしてメモリーされたことがわかります。**お気に入り** ボタンを押すとメモリーが再現されます。

4. 常夜灯を点灯するときは、**常夜灯** ボタンを押す

常夜灯 ボタンを押すと、全体のLEDが消灯し、常夜灯が点灯します。

- 常夜灯には強/弱があり、**常夜灯** ボタンを押すたびに強弱が切り替わります。

5. おやすみタイマーを設定する

点灯時、**LEDタイマー** ボタンを1回押すと、30分後に自動で消灯します。2回押すと、60分後に自動で消灯します。タイマーを解除するときは、もう1度押してください。

※ 解除されたとき、タイマー設定時よりも長く音が鳴ります。

おやすみタイマーの音



音のイメージ	ピッ	ピピッ	ピー
タイマー時間	30分	60分	解除

6. リモコンで消灯/点灯するときは、**LED電源** ボタンを押す

LED電源 ボタンを押すと、ファンに関係なくLEDのみ消灯/点灯をすることができます。

7. リモコンの OFFボタンまたは壁スイッチで消灯する

 OFFボタンを押すと、壁スイッチで電源を切ったときのように、LEDとファンが同時に停止します。

- どちらかのみ電源を切る場合は、 LED電源ボタンまたは  ファン電源ボタンを押して電源を切ります。

壁スイッチメモリー

壁スイッチで入・切する場合、壁スイッチで切った最後の状態で点灯します。ただし、常夜灯、消灯はメモリーされません。

リモコンメモリー

電源ボタンで切(OFF)にした最後の状態で点灯します。(常夜灯はメモリーされません)

本体とリモコンのチャンネルを設定する

同じ製品が2台ある場合、本体とリモコンにチャンネルを設定することで、独立して操作することができます。電源（壁スイッチなど）を入れてから、下記の手順で本体とリモコンのチャンネル設定をしてください。

1. 本体にリモコンを向けて、 リモコンCH設定ボタンと風量調節ボタン「1」または「2」を同時に長押しする

風量調節ボタン「1」を押した場合1CH、「2」を押した場合2CHに設定されます。

「CH1」に設定した場合（ピーピッ）

ピーと長い音に続いて短いピッ音が1回鳴ります。

「CH2」に設定した場合（ピーピピッ）

ピーと長い音に続いて短いピッ音が2回鳴ります。

- 出荷時は、本体・リモコンともにチャンネル1 (CH1) に設定してあります。
- 《リモコンのみのチャンネル設定》本体のチャンネル設定を変えたくない場合は、本体にリモコンを向けなくて（送信部を手で覆う、別の部屋で）チャンネル設定をしてください。

2. 2台の器具を設置する場合の設定


2台同時に操作する場合

本体1台目、本体2台目ともに本体を同じチャンネルに設定します。

- 本体1台目をチャンネル1 (CH1)、本体2台目もチャンネル1 (CH1)、リモコンもチャンネル1 (CH1) に合わせます。

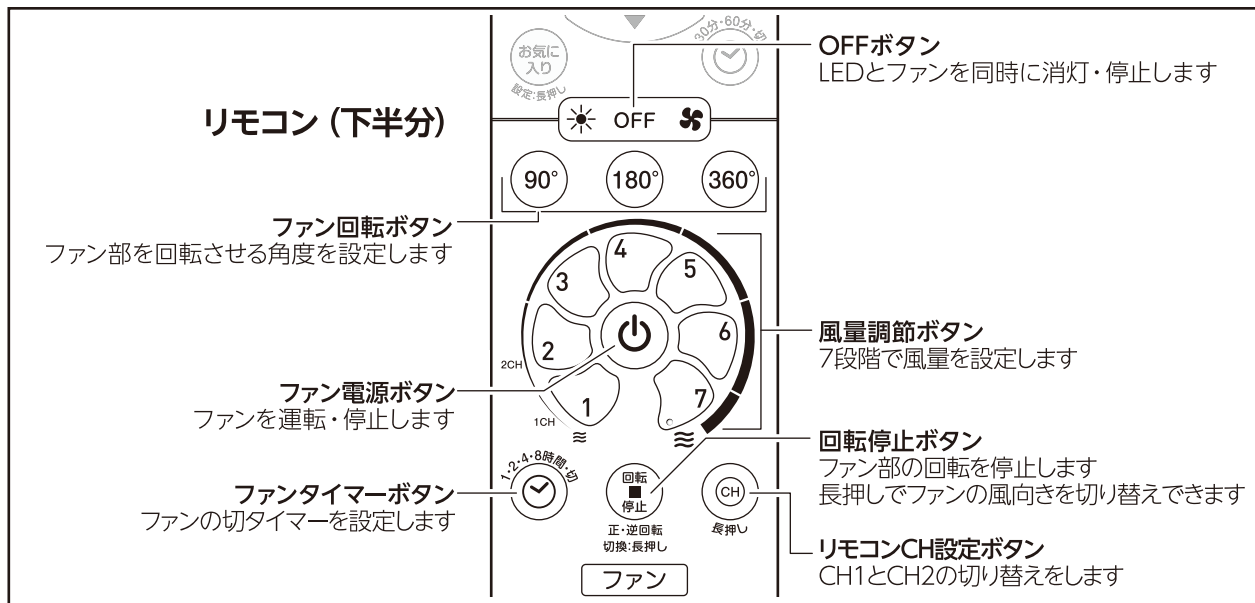
2台別々に操作する場合(部屋別で操作させたいなど)

- 本体1台目はチャンネル1 (CH1)、本体2台目チャンネル2 (CH2)
- リモコン1台目はチャンネル1 (CH1)、リモコン2台目はチャンネル2 (CH2) に合わせます。

 注意	<ul style="list-style-type: none"> • 2台同じチャンネルにしても、器具間の距離やリモコン操作の方向により同時に動作しないことがあります。 • 付属のリモコンの操作に関係なく本製品の明るさが切り替わる場合は、本体とリモコンのチャンネルを変更してください。
--	--

音のイメージ	ピー ピッ — .	ピー ピピッ — ..
チャンネル	チャンネル1 (CH1)	チャンネル2 (CH2)

正しい使いかた《ファン》



運転を開始／停止する

1. 運転を開始する

リモコンの⏻ファン電源ボタンを押すと、ファンの運転を開始します。

- 通常の使用時にはメモリー機能により、前回停止時の風量で運転を開始します。

2. 風量を調節する

リモコンにある7つの風量調節ボタンを押して風量を調節してください。

- 1が一番弱く、7が一番強い風になります。

3. 切タイマーを設定する

運転中に、⌚ファンタイマーボタンを押す回数で切タイマー時間が設定されます。

設定された時間に対応した音が鳴り、設定されたことがわかります。

切タイマー設定

音のイメージ	ピッ	ピッピッ	ピッピッ ピッ	ピッピッ ピッピッ	ピー
切タイマー	約1時間	約2時間	約4時間	約8時間	解除

- 切タイマーをキャンセルするときは、⌚ファンタイマーボタンを何度か押して、ピーと音が鳴ることを確認してください。

4. リモコンの⏻ファン電源ボタンを押して運転を停止する

運転中にリモコンの⏻ファン電源ボタンを押すと、運転を停止します。

5. リモコンの* OFF *OFFボタンまたは壁スイッチで消灯・運転停止させる

* OFF *OFFボタンを押すと、壁スイッチで電源を切った時のように、LEDとファンが同時に停止します。

切り忘れ防止機能

最後に操作してから約12時間経過すると、ファンの運転が自動的に停止します。

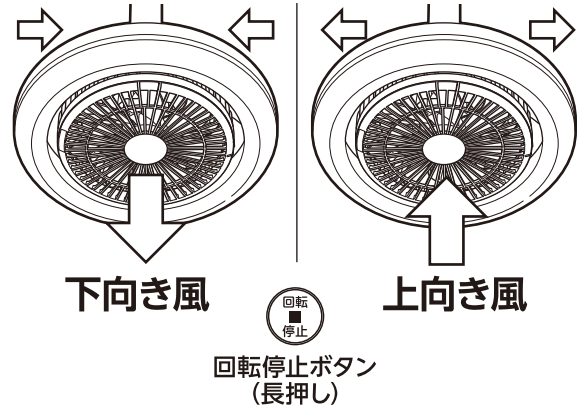
上下の風向きを変更する

1. 回転停止ボタンで風向きを変更する

回転停止ボタンを長押しすることでファンの風向きを変更することができます。

- 下向き風・下降 風を下向きにすることにより、体感温度を下げることができます(冷房時に有効)。
- 上向き風・上昇 風を天井に当て、高いところにある暖かい空気を下に循環させることができます(暖房時に有効)。

※一度羽根を止めるため、風向切替には少し時間がかかります。



ファン回転を開始/停止する

前もってファン部に傾きをつけておき、ファン回転(首ふり)をさせることによって、部屋のポイントに風を送ったり、風を広い範囲に送ることもできます。

1. ファン部の傾きを調節する

「ファン部の傾き調節をする」(6ページ)

- ファン部に傾きがないと、ファン部が回っても回転動作が無意味になります。

2. 回転動作を開始する

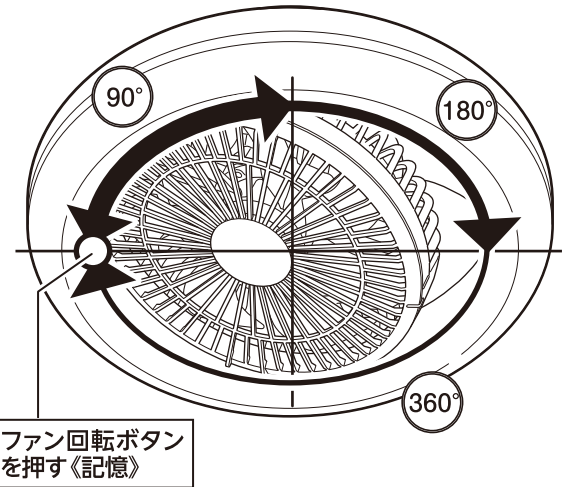
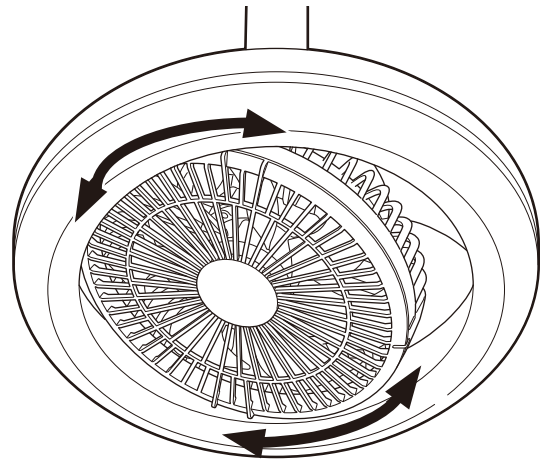
運転中に $\textcircled{90}$ $\textcircled{180}$ $\textcircled{360}$ ファン回転ボタンを押すと、ファンが回転します。

- $\textcircled{90}$ 90°または $\textcircled{180}$ 180°ファン回転ボタンは、押した時点の場所を記憶し、その場所からそれぞれ90°・180°で往復回転をします。そのため希望の送風したい範囲がある場合は、 $\textcircled{360}$ ファン回転ボタンで360°回転させて、希望の位置になった時点で $\textcircled{90}$ 90°または $\textcircled{180}$ 180°ファン回転ボタンを押します。
- $\textcircled{360}$ 360°ファン回転ボタンを押すと、それまでの回転方向でファンが回転し続けます。回転方向を変えるには、 $\textcircled{90}$ 90° $\textcircled{180}$ 180°ファン回転ボタンで首ふりさせて、希望の回転方向になったときに $\textcircled{360}$ 360°ファン回転ボタンを押します。

3. 回転動作を停止する

回転中に回転停止ボタンを押すと、ファンの回転が停止します。

ファン回転中に壁スイッチを切にした場合、ファン部の360°回転はメモリーしています。90°・180°回転はメモリーされませんので、再度設定してください。



お手入れと保存



お手入れの際は、必ず壁スイッチを切り、取り付け器具からはずす。
感電・火災・けがの原因になります。

お願い

- ・住宅用洗剤やシンナー、ベンジン、アルコール、磨き粉などは絶対に使わないでください。
- ・本体に水をかけて洗わないでください（感電・故障の原因になります）。

通常のお手入れ

前ガードと後ガードについたホコリは、すきま用ノズルなどを取り付けた掃除機などで取り除いてください。

お手入れ

本体の汚れは、ぬるま湯か食器用中性洗剤（柑橘系を除く）に浸して、かたくしぼった柔らかい布でふきとり、さらに乾いた布でやさしくからぶきをしてください（樹脂部分は強くこすらないでください。傷つきの原因となることがあります）。

取り付け器具からの取りはずしかた

支柱部

支柱部を左（反時計方向）に回して、口金を取り付け器具「口金E26の器具」から取りはずしてください。

本体

本体を左（反時計方向）に回すことでも口金を取り付け器具「口金E26の器具」から取りはずすことができます。

- ・この場合、水平左回転約300°回ったあとに口金がゆるみますのでご注意ください。
- ※再度、取り付け器具「口金E26の器具」に取り付けるときは、水平右回転約300°回ったあとに口金がしまります。

※回す方向は、下の前ガード側から見た方向です。

前ガードの取りはずしかた

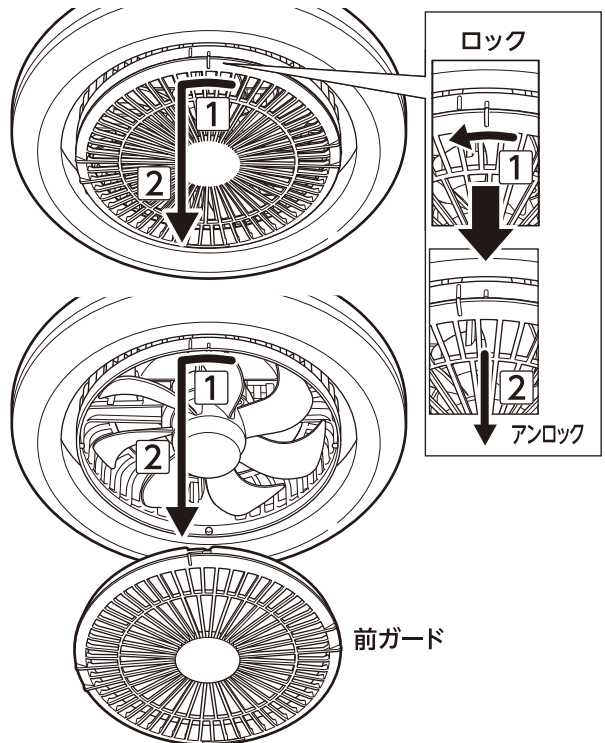
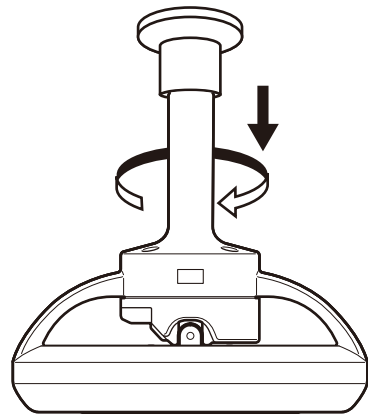


羽根のエッジなどでけがをしないよう、十分に注意する。

前ガード・羽根の汚れの清掃は、前ガードを取りはずして行ないます。

- ・前ガードを左（反時計方向）に回し①、手前に引いて前ガードをはずします②。

※羽根は、取りはずすことができません。



羽根は取りはずすことができません

前ガードの取り付けかた



警告

前ガードを取り付けずに運転をしない。
事故・故障の原因になります。

前ガードは、傾き調節位置の関係上、取り付け位置が決まっています

- 前ガードのまわりにある凹みと、本体にある内側の突起に合わせて取り付けます①。
- ただし、本体の突起は、1か所だけ太い突起になっており、そこを前ガードにある傾き調節位置側にすると、正しく取り付けることができます。
- 前ガードを時計回りに回し、前ガードがはずれないようにロックします②。

定期的なお手入れ

羽根は定期的にお手入れしてください

- 使用しているうちに風が弱くなった場合、羽根にホコリなどが付着して、風量が低下している可能性があります。
- この場合は柔らかい布をぬるま湯か食器用中性洗剤（柑橘系を除く）に浸し、かたくしぼってから羽根をふきとり、さらに乾いた布でやさしくからぶきしてください。
- 樹脂部分は強くこすらないでください。傷つきの原因になります。

ホコリなど汚れが付いていないように見えても、風が弱くなったと感じられるときは、お手入れで改善することがあります。

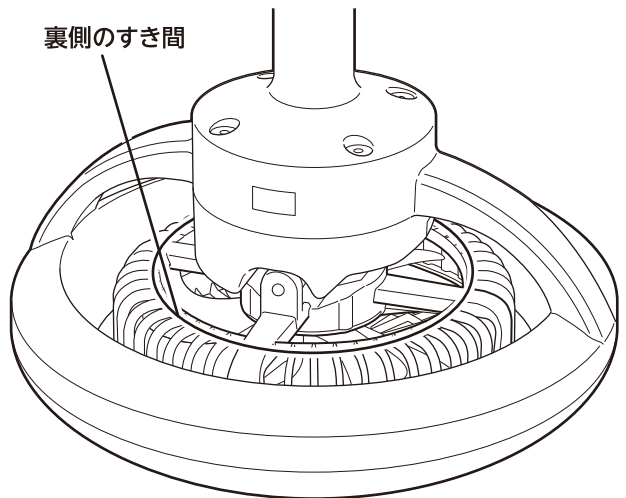
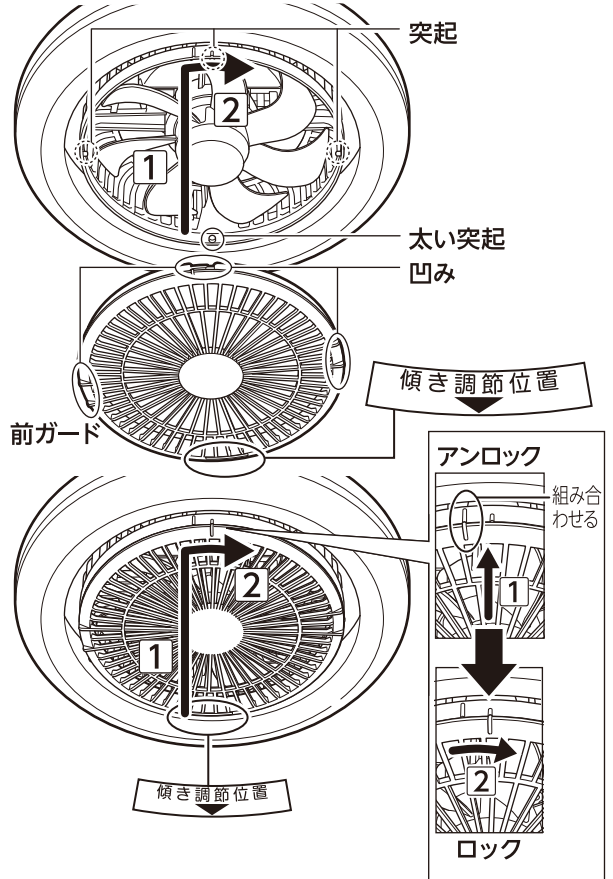
羽根の裏側のお手入れ

羽根を取りはずすことができないため、本体の裏側のすき間から、羽根の裏側をお手入れすることができます。

- 羽根の裏側を回転させてお手入れしてください。

保存のしかた



- 長期間(3か月以上)設定を変更せず、リモコンを使用しないときは、電池を取りはずしておいてください。
- 本体を取りはずして保存する場合は、お手入れをして、十分乾燥させてから、ホコリが付かないようにビニール袋などに入れて、湿気のない場所に保存してください。



修理・サービスを依頼する前に

⚠警告 修理技術者以外の方は分解したり修理をしない。

「故障かな?」と思ったときには次の点をお調べください。

症状	主な原因	処置
点灯しない ファンが回らない	電源 (壁スイッチ) が「切」になっている	電源 (壁スイッチなど) を「入」にする
	ブレーカーが「切」になっている	ブレーカーを「入」にする
	□金がソケットに確実に取り付けられていない	□金をソケットに確実に取り付ける
点灯しない	LED電源が「切」になっている	リモコンでLED電源ボタンを押す
ファンが回らない	ファン電源が「切」になっている	リモコンでファン電源ボタンを押す
ファンが突然停止した・止まっていた	運転開始後約12時間経過して「切り忘れ防止機能」で停止した	リモコンのファン電源ボタンを押す
ファンが傾かない	 傾き調節位置以外で調節している	 傾き調節位置で調節する
異音がする	・前ガードが正しく取り付けられていない	正しく取り付ける
	・ソケットに正しく取り付けられていない	正しく取り付ける
	・□金とソケットがゆるんでいる	
	本体の一部が周辺物と接触して振動している	本体が他と接触しないように角度調節する
リモコン操作をしても動作の設定ができない (動作が変化しない)	ファン部が支柱部に接触して振動している	ファン部が支柱部と接触しないように角度調節する
	リモコンの電池が切れている	新しい電池を入れる
	リモコンのチャンネルが異なっている	リモコンのチャンネルを変更する
	リモコンの電池が正しく入れられていない	正しく電池を入れなおす
	本体LEDライト部 (受光部) に向けて操作していない	本体LEDライト部 (受光部) に向けて操作する

長年ご使用の場合はよく点検を

このような症状はありませんか?

- ・電源を入れても点灯しない。
- ・チカチカしたり点滅する。
- ・こげ臭い匂いがする。
- ・その他の異常・故障がある。




このような症状のときは、事故防止のため、すぐに電源を切り、使用を中止してください。
製品の故障または寿命と考えられるため、販売店またはドウシヤお客様相談室にご相談ください。

《ファン部》

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

(本体への表示内容)

※経年劣化により発火・けがなどの事故の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた以下の内容の表示を本体に行なっています。

	[製造年](本体に西暦4桁で表示してあります)
	[設計上の標準使用期間](本体に表示してあります)
設計上の標準使用期間を超えて使用されますと経年劣化による発火・けがなどの事故に至るおそれがあります。	

(設計上の標準使用期間とは)

※下表の標準的な使用条件の下で使用した場合に、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。

※設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を保証するものでもありません。

■標準使用条件(JIS C9921-1による)

環境条件	電圧	AC 100V	製品の取扱説明書による
	周波数	50Hz/60Hz	
	温度	30°C	
	湿度	65%	
	設置	標準設置	
負荷条件		定格負荷(風速)	
規定時間 など	運転時間	8h/日	
	運転回数	5回/日	
	運転日数	110日/年	
	スイッチ操作回数	550回/年	

●「経年劣化とは」

長期間にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化をいいます。

アフターサービスについて

製品についての
ご相談に関しては…

ドウシシャお客様相談室

☎ **0120-104-481**

【受付時間】 9:00～17:00 (祝日以外の月～金曜日)

ドウシシャ福井家電カスタマーセンター 〒915-0801 福井県越前市家久町41-1

※ 商品名、品番をご確認のうえ、お電話をいただきますようお願いいたします。

※ お電話をいただいたときにお話いただく情報は、お客様へのアフターサービスにおいて利用させていただきますので、ご了承ください。

商品に関する Q&A

お客様サポートセンター

<https://www.doshisha.co.jp/support/faq/lighting.html>



ドウシシャのパーツ購入は

ドウシシャマルシェ

DOSHISHA Marché
ONLINE STORE 公式オンラインストアで

<https://www.doshisha-marche.jp/>

